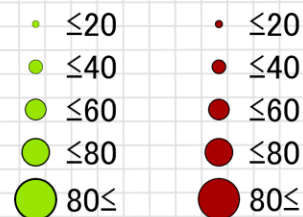


石西礁湖現況把握マップ【試行版】 ～近年のサンゴ被度～

サンゴ被度(%)

近年の被度 過去最大被度



近年の石西礁湖は、2016年の大規模白化からの回復途中にあります。
比較可能なデータのある1983年以降生きたサンゴが最も多かった状態
(赤丸) と比べた近年の回復程度を示しました(緑丸)。

【表示されているデータ】

近年の被度：2018-2020年の平均値

過去の最大被度：石西礁湖は主に1983-2019年の最大値

石垣島・西表島は主に1998-2019年の最大値

※環境省モニタリングサイト1000調査のデータ

赤色がみえている
ところはサンゴが
減ってしまってい
るところです



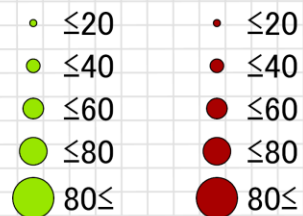
0 2.5 5 10
キロメートル



石西礁湖現況把握マップ【試行版】 ～近年のサンゴ被度～

サンゴ被度(%)

近年の被度 過去最大被度



近年の石西礁湖は、2016年の大規模白化からの回復途中にあります。
比較可能なデータのある1983年以降生きたサンゴが最も多かった状態
(赤丸) と比べた近年の回復程度を示しました(緑丸)。

【表示されているデータ】

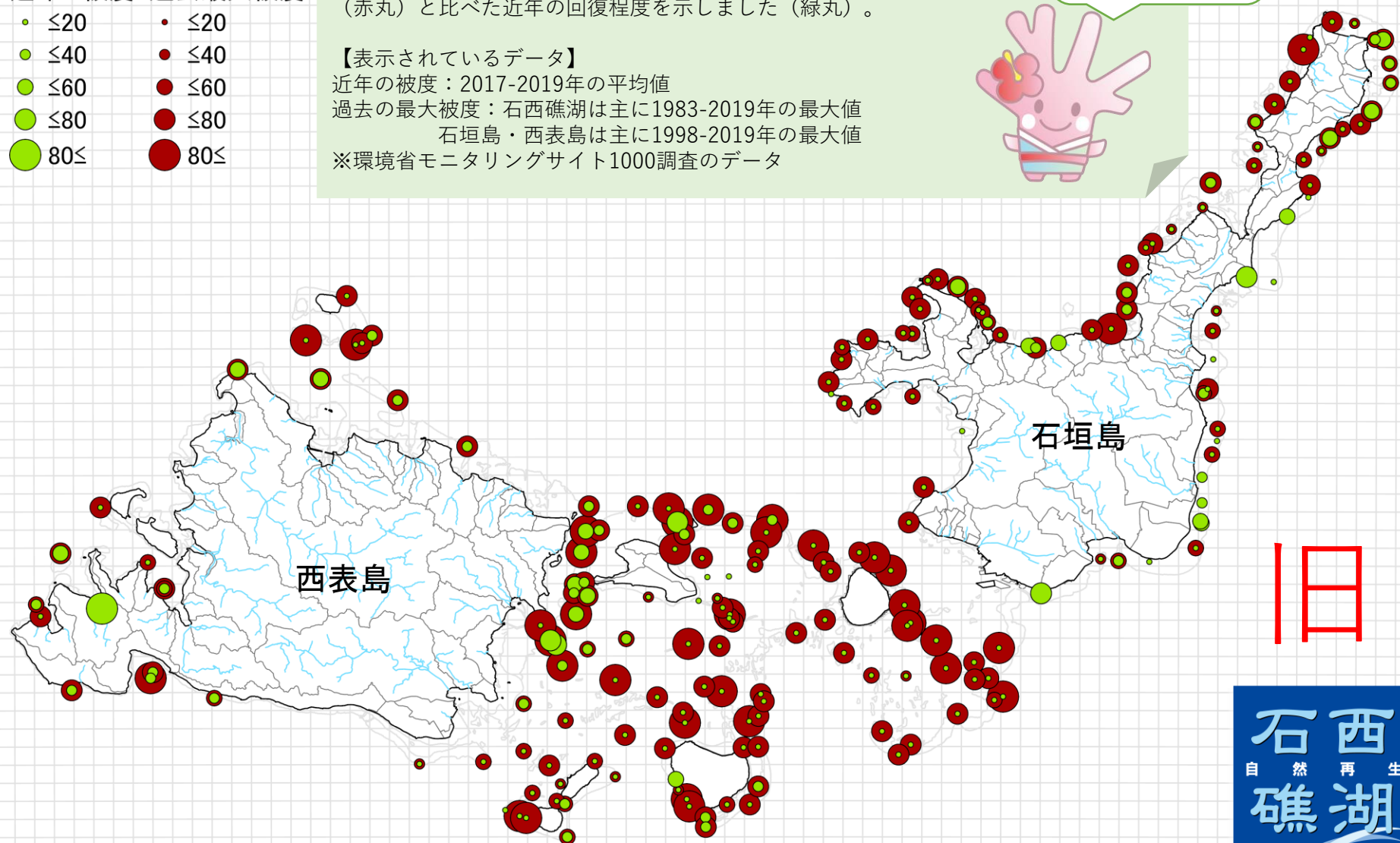
近年の被度：2017-2019年の平均値

過去の最大被度：石西礁湖は主に1983-2019年の最大値

石垣島・西表島は主に1998-2019年の最大値

※環境省モニタリングサイト1000調査のデータ

赤色がみえている
ところはサンゴが
減ってしまってい
るところです



旧



0 2.5 5 10
キロメートル

サンゴ礁の健全度マップ

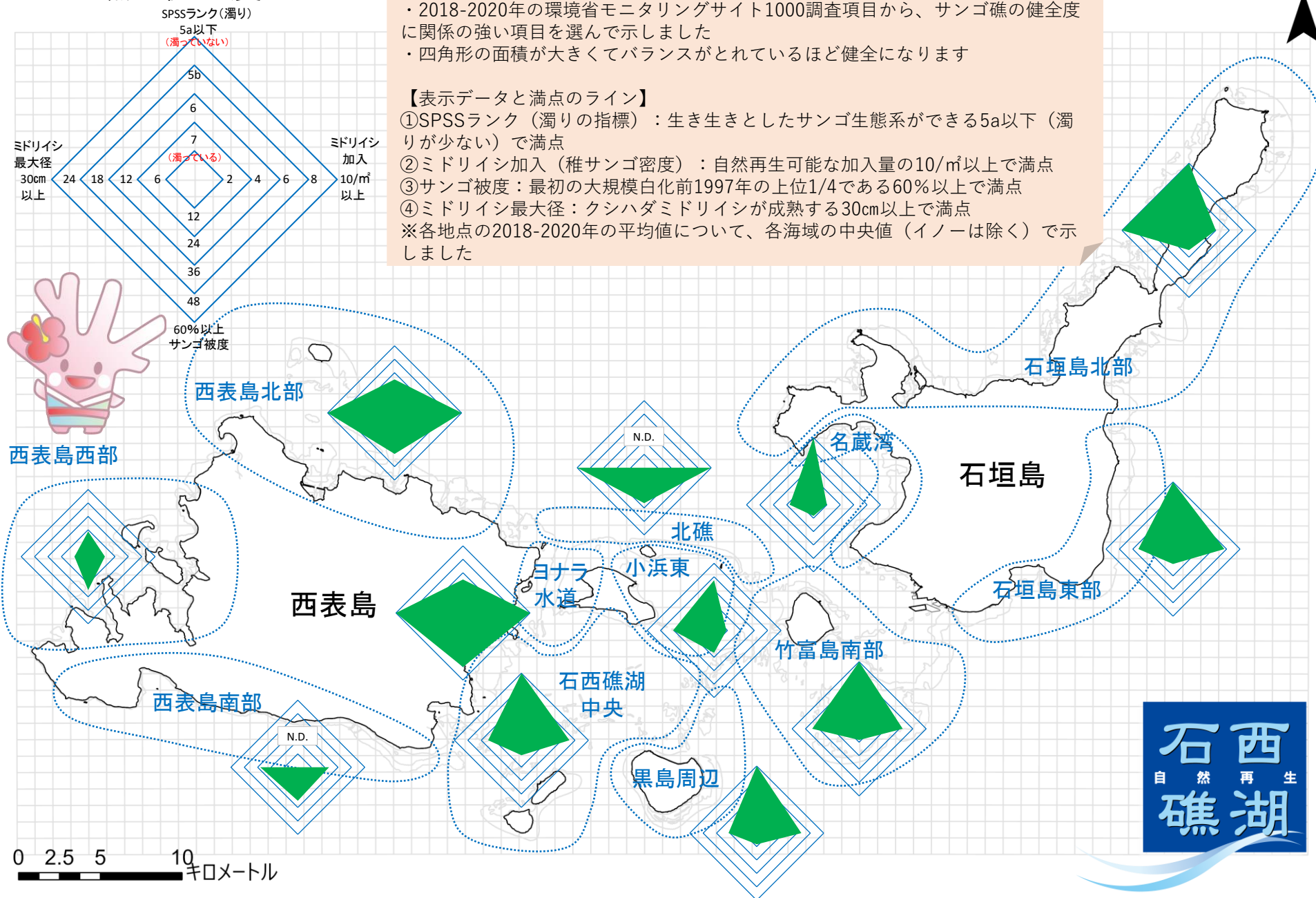
【試行版】

N

- ・ 2018-2020年の環境省モニタリングサイト1000調査項目から、サンゴ礁の健全度に関係の強い項目を選んで示しました
- ・ 四角形の面積が大きくてバランスがとれているほど健全になります

【表示データと満点のライン】

- ①SPSSランク（濁りの指標）：生き生きとしたサンゴ生態系ができる5a以下（濁りが少ない）で満点
 - ②ミドリイシ加入（稚サンゴ密度）：自然再生可能な加入量の10/m²以上で満点
 - ③サンゴ被度：最初の大規模白化前1997年の上位1/4である60%以上で満点
 - ④ミドリイシ最大径：クシハダミドリイシが成熟する30cm以上で満点
- ※各地点の2018-2020年の平均値について、各海域の中央値（イノーは除く）で示しました



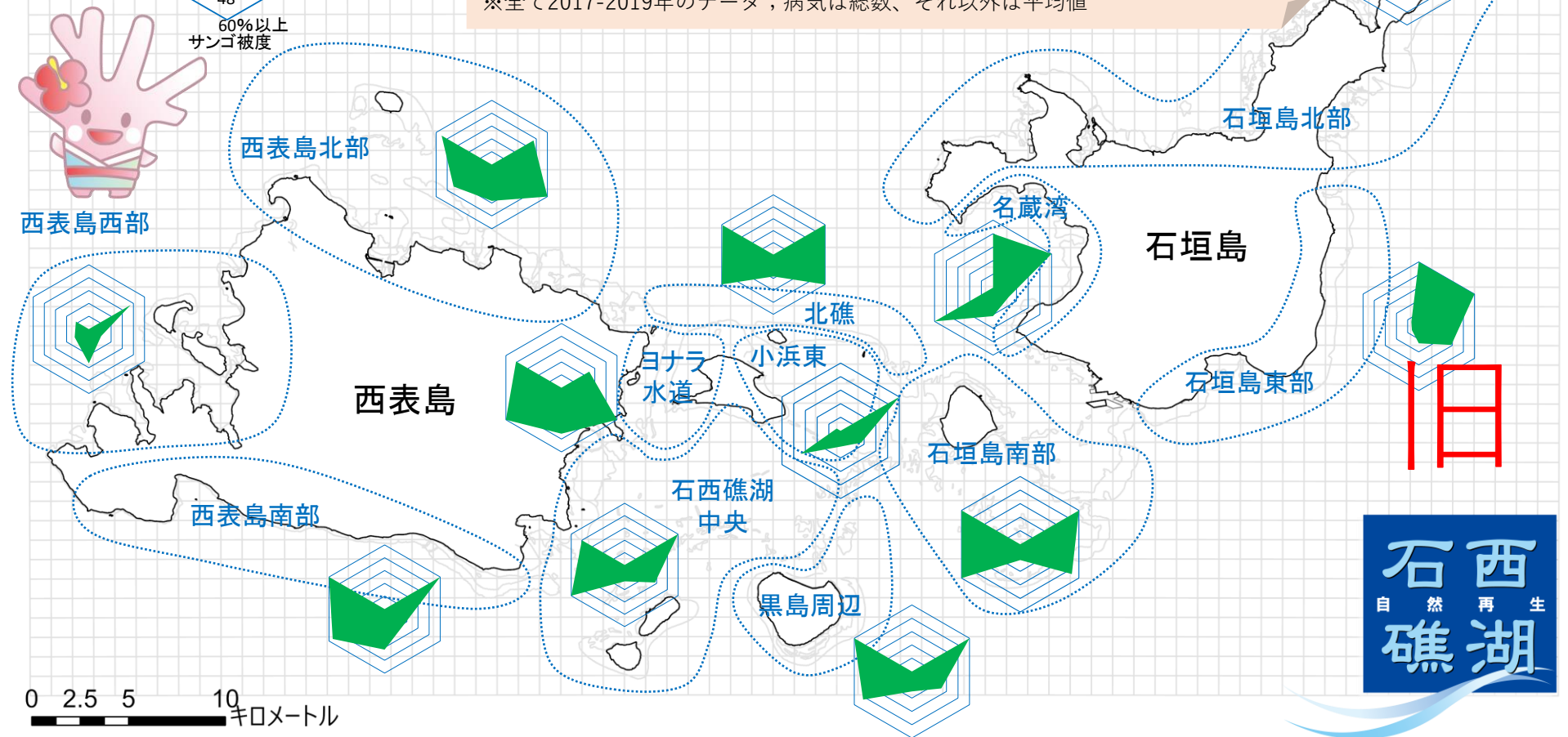
サンゴ礁の健全度マップ



・2017-2019年の環境省モニタリングサイト1000調査項目から、サンゴ礁の健全度に関係の強い項目を選んで示しました
・六角形の面積が大きくてバランスがとれているほど健全になります

【表示データと満点のライン】

- ①病気発生回数：3年間で一度も病気が観察されないと満点
 - ②SPSSランク（濁りの指標）：生き生きとしたサンゴ生態系ができる5a以下（濁りが少ない）で満点
 - ③ミドリイシ加入（稚サンゴ密度）：自然再生可能な加入量の10/m²以上で満点
 - ④サンゴ被度：最初の大規模白化前1997年の上位1/4である60%以上で満点
 - ⑤ミドリイシ最大径：クシハダミドリイシが成熟する30cm以上で満点
 - ⑥ブダイ個体数（20分観察で見られた30cm以上の大きさの個体数）：競合する藻類を食べてくれるので多い方が健全で全地点の上位1/4の3個体以上で満点
- ※全て2017-2019年のデータ；病気は総数、それ以外は平均値



モニタリングサイト1000調査項目			単位
サンゴの生息状況	再生・回復の指標	被度	%
		生育型	タイプ
		卓状ミドリイシ最大平均径	cm
		ミドリイシの新規加入数	個
攪乱要因	オニヒトデ	オニヒトデ個体数	個
		オニヒトデ優占サイズ	ランク
		オニヒトデ範囲	cm
		オニヒトデ食害率	%
	その他の生物	サンゴ食巻貝被食率	%
		全長30cm以上の大型魚類_ハタ類	個
		全長30cm以上の大型魚類_ベラ類	個
		全長30cm以上の大型魚類_ブダイ類	個
	白化	全体	%
		死亡	%
		ミドリイシ全体	%
		ミドリイシ死亡	%
	病気	病気	有無(有=1、無=0)
		病気ランク	ランク
		腫瘍	有無(有=1、無=0)
		BBD	有無(有=1、無=0)
		WS	有無(有=1、無=0)
	台風	台風の影響	ランク
生息環境		水深	m
		底質	
		SPSS	ランク
		SPSS計測値	kg/m ³
		地形	
その他		備考	



→レーダーチャート
採用項目



→レーダーチャート
除外項目